



見えないところで魅せている。そのこだわりは、いつも際限なく。

4B11 MIVECエンジンのハイパワーを、トランスミッションが変速し、S-AWCが4輪に配分する。そこから先は、サスペンションとタイヤの仕事である。クルマはタイヤを介して路面とコンタクトしている。その接地性を確実に確保し、タイヤのグリップ力が高まれば、加速・旋回・制動などあらゆる走りのパフォーマンスが向上する。ランサーエボリューションXは、新たにタイヤを18インチへとサイズアップ。それをしっかりと使いこなすために、そしてワイドトレッド化に対応するためにサスペンションを新設計した。実戦からのフィードバックと進化を重ねた基本形式を踏襲しながら、レイアウトの最適化と高剛性化を徹底。パフォーマンスの向上とともに、質感の高い新世代の乗り味までも生み出している。もちろんこれまでと同様、ショックアブソーバーやコイルスプリング、そしてブレーキやホイールなどは、高性能車ならではのすぐれたパーツを装着。フロントの倒立式単筒ショックアブソーバーや高剛性18インチアルミホイールなどを標準装備し、さらにメーカーオプションで各種のスペシャルパーツを用意した。そのひとつが、左の写真の2ピースタイプフロント18インチベンチレーテッドディスクブレーキである。超軽量で、実戦レベルのスペックを持つスペシャルパーツを、brembo社製のブレーキシステム、BILSTEIN社製単筒式ショックアブソーバー、Eibach社製コイルスプリング、ハイパフォーマンスタイヤなどと組み合わせてメーカーオプション設定した。走りの性能のためには、見えないところでも徹底的にこだわる。そのチャレンジングな意志は、いまなおそのまま受け継がれている。